

令和2年度

香川県教育大綱の主な取組状況(教育委員会)

- 1 香川県の児童生徒の現状
- 2 香川県教育施策の概要

香川県の児童生徒の現状

- 学力・体力等に関する調査結果より -

令和2年度

香川県教育委員会

目 次

確かな学力の育成と個に応じた教育の推進

学力の定着状況	1
1日当たりの家庭等での学習時間	2
スマホ等の平日1日の使用時間(H29年度)	3
ネット依存の傾向(H29年度)	4

豊かな人間性をはぐくむ教育の推進

暴力行為発生件数、いじめ認知件数、不登校児童生徒数	5
学校生活の状況	7

すこやかな体をはぐくむ教育の推進

児童生徒の体格	8
昭和60年度との体格比較(香川県)	9
体力・運動能力(T-スコア)	10
体力・運動能力(体力合計得点の年次推移)	11
昭和60年度との体力比較(香川県)	12

元気で安心できる学校づくり

公立学校施設の耐震改修状況	13
---------------	----

社会全体で子どもを育て、いつでも学べる環境づくり

1日当たりの読書時間	14
------------	----

多様なスポーツ活動が実践できる環境づくり

国民体育大会総合順位・入賞競技数等の推移	15
オリンピック大会・アジア競技大会での出場者数(香川県出身)	15

学力の定着状況

平成28年度～令和元年度 全国学力・学習状況調査における全国と香川県の平均正答率の推移【調査区分別】 ※平成29年度以降の都道府県の調査区分ごとの平均正答率は、文部科学省から提供されている整数値。

小学6年

中学3年

平成28年度～令和元年度 全国学力・学習状況調査

調査区分	国語	国語A			国語B		
		H30	H29	H28	H30	H29	H28
調査年度	R元	H30	H29	H28	H30	H29	H28
県(公立)平均正答率(%)	65	69	75	75.0	58	59	59.5
全国(公立)平均正答率(%)	64 (63.8)	71 (70.7)	75 (74.8)	72.9	55 (54.7)	58 (57.5)	57.8
県と全国との差(pt)	+1	-2	0	+2.1	+3	+1	+1.7

調査区分	国語	国語A			国語B		
		H30	H29	H28	H30	H29	H28
調査年度	R元	H30	H29	H28	H30	H29	H28
県(公立)平均正答率(%)	73	76	78	77.2	60	71	67.5
全国(公立)平均正答率(%)	73 (72.8)	76 (76.1)	77 (77.4)	75.6	61 (61.2)	72 (72.2)	66.5
県と全国との差(pt)	0	0	+1	+1.6	-1	-1	+1.0

調査区分	英語※
調査年度	R元
県(公立)平均正答率(%)	55
全国(公立)平均正答率(%)	56 (56.0)
県と全国との差(pt)	-1

調査区分	算数	算数A			算数B		
		H30	H29	H28	H30	H29	H28
調査年度	R元	H30	H29	H28	H30	H29	H28
県(公立)平均正答率(%)	68	64	79	78.2	53	48	46.7
全国(公立)平均正答率(%)	67 (66.6)	64 (63.5)	79 (78.6)	77.6	52 (51.5)	46 (45.9)	47.2
県と全国との差(pt)	+1	0	0	+0.6	+1	+2	-0.5

調査区分	数学	数学A			数学B		
		H30	H29	H28	H30	H29	H28
調査年度	R元	H30	H29	H28	H30	H29	H28
県(公立)平均正答率(%)	60	67	66	63.8	46	49	44.6
全国(公立)平均正答率(%)	60 (59.8)	66 (66.1)	65 (64.6)	62.2	47 (46.9)	48 (48.1)	44.1
県と全国との差(pt)	0	+1	+1	+1.6	-1	+1	+0.5

※令和元年度から始まった英語の調査結果は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計を集計している。

(注) 令和元年度から「A問題」、「B問題」の区別がなく、知識と活用を一体的に問う調査問題が出題されている。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の調査はなし。

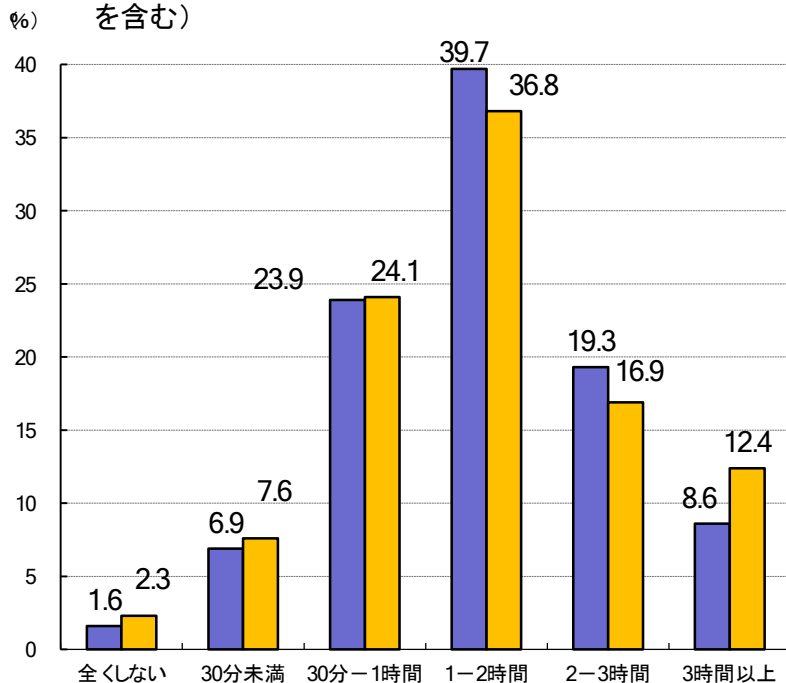
【昨年度の状況】

全国学力・学習状況調査の平均正答率を全国と比較すると、小学生では、国語、算数とも全国平均を上回り、中学生では、国語、数学において全国平均と同等で、英語において全国平均を下回っています。

1日当たりの家庭等での学習時間

小学6年

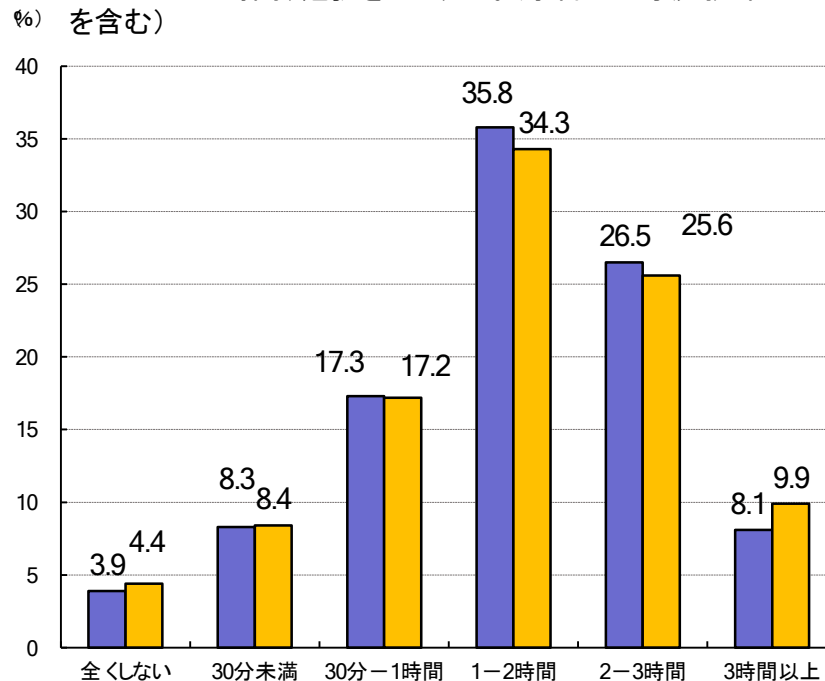
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾や家庭教師を含む)



■香川県 ■全国

中学3年

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾や家庭教師を含む)



令和元年度 全国学力・学習状況調査

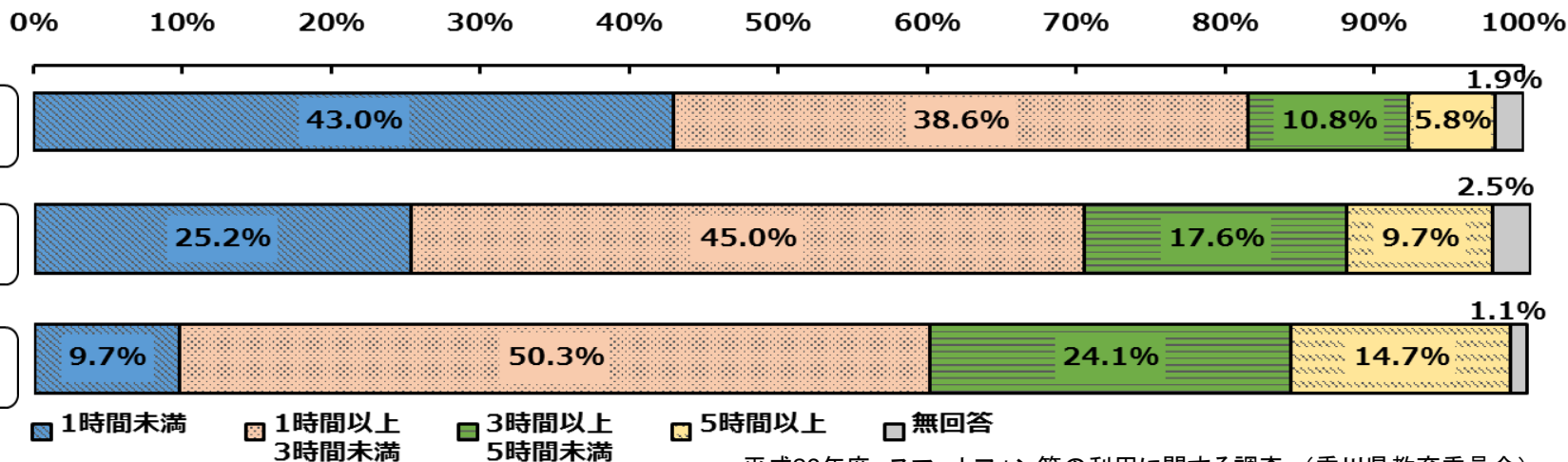
※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の調査はなし。

【昨年度の状況】

家庭等での平日(月～金曜日)の勉強時間の分布を全国と比較すると、小・中学生とも1～2時間及び2～3時間勉強している割合が高く、3時間以上の割合が低くなっています。

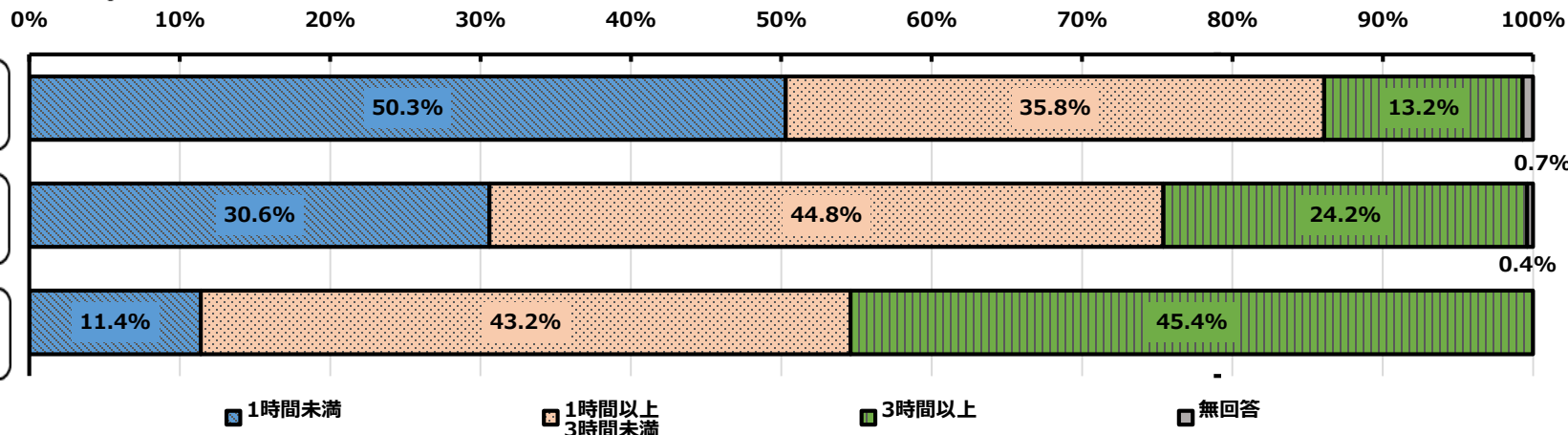
スマホ等の平日1日の使用時間(H29年度)

※自分のスマホ等を所有している、または家族所有のスマホ等を使用していると回答した児童生徒に対する質問



平成29年度 スマートフォン等の利用に関する調査 (香川県教育委員会)

(参考 平成26年度)



※現在、調査結果の集計中 (令和2年度未公表予定)

【H29の状況】

- ・スマホ等の平日1日の使用時間は、小学生(4~6年)では1時間未満が最も高く、43.0%となっています。
- ・中・高校生では、1時間以上3時間未満が最も高く、中学生では45.0%、高校生では50.3%となっています。
- ・3時間以上は、小学生(4~6年)では16.6%、中学生では27.3%、高校生では38.8%となっており、そのうち5時間以上は、中学生では9.7%、高校生では14.7%となっています。

ネット依存の傾向（H29年度）

※自分のスマホ等を所有している、または家族所有のスマホ等を使用していると回答した生徒に対する質問(中学生・高校生が対象)

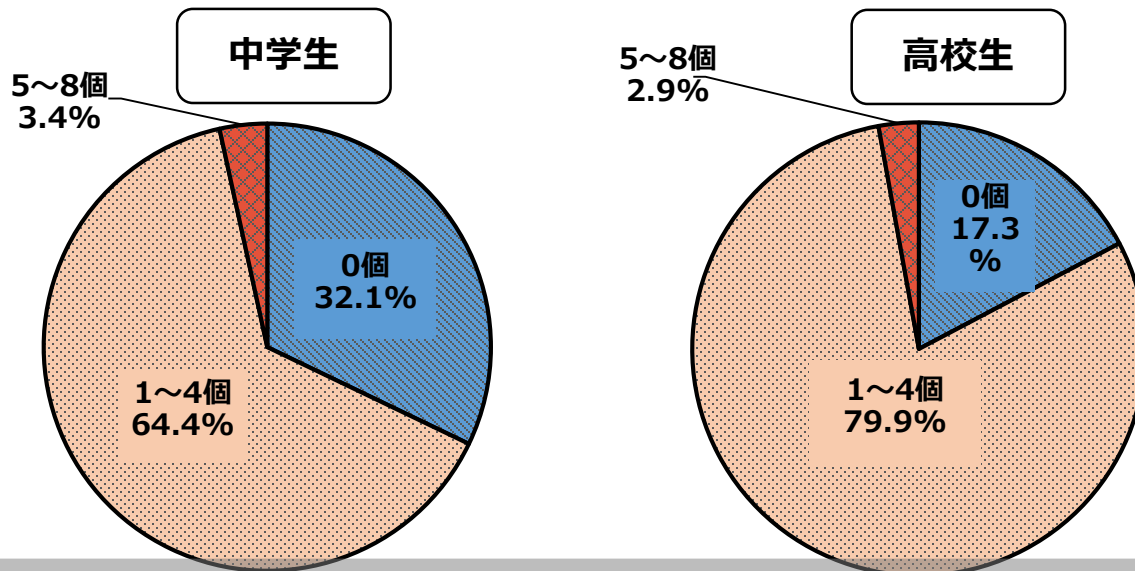
あなたはスマートフォンやゲーム機などを使用していて、次のようなことがありますか。（複数回答）

- ① ネットに夢中になっていると感じる
- ② 満足を得るために、ネットの使用時間をだんだん長くしたいと感じる
- ③ ネット使用を制限したり、時間を減らしたり、完全にやめようとしたが、うまくいかなかったことがよくある
- ④ ネット使用を制限したり、時間を減らしたり、完全にやめようとしたとき、落ち着かなかったり、不機嫌や落ち込み、またはイライラなどを感じる
- ⑤ 使い始めに思っていたよりも長い時間続けている
- ⑥ ネットに熱中したために大切な人間関係を台無しにしたり、危うくしたりすることがあった
- ⑦ ネットに熱中しすぎていることを隠すために、家族、学校の先生にウソをついたことがある
- ⑧ 問題や絶望的な気持ち、罪悪感、不安、落ち込みなどから逃れるためにネットを使う

上記8項目のうち、5項目以上に該当する場合、ネット依存傾向にあると認められる。

(Kimberly Young博士「インターネット依存度テスト(Internet Addiction Test)」による)

平成29年度 スマートフォン等の利用に関する調査（香川県教育委員会）



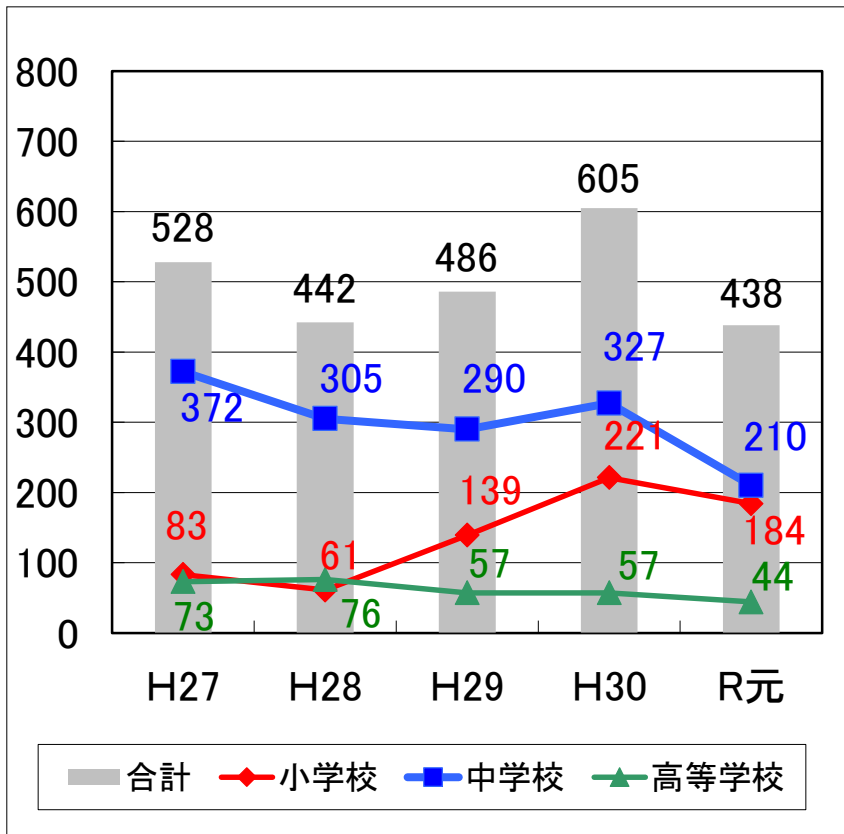
※現在、調査結果の集計中（令和2年度末公表予定）

【H29の状況】

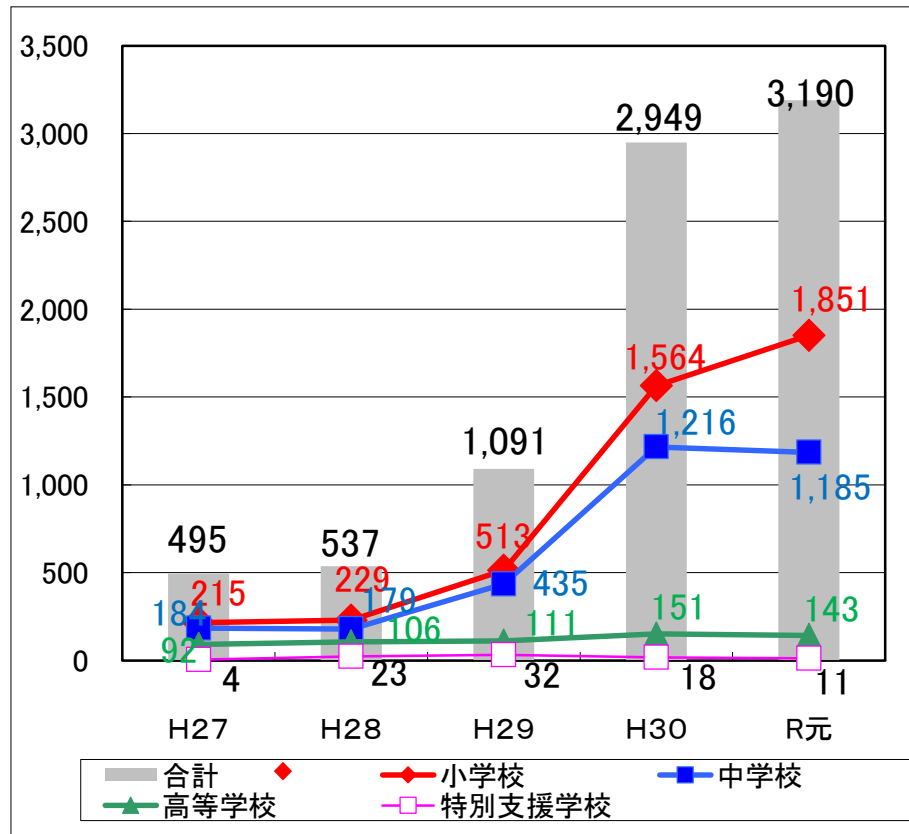
ネット依存状態にあると考えられる生徒の割合は、中学生では3.4%、高校生では、2.9%となっています。

暴力行為発生件数、いじめ認知件数、不登校児童生徒数(国公立)

暴力行為発生件数の推移



いじめ認知件数の推移

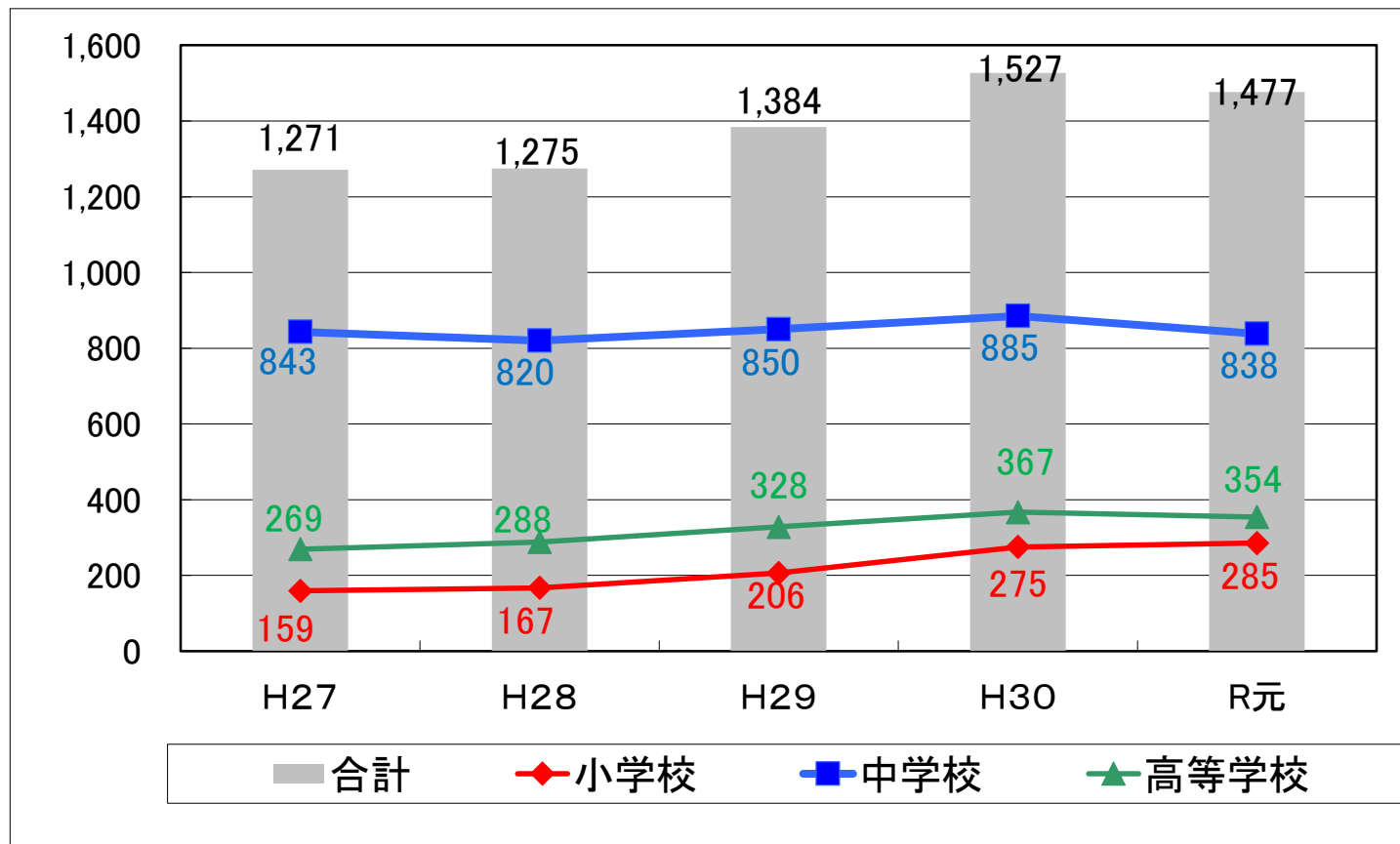


令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

※暴力行為については、平成27年度に、対象となる行為等の程度が広がり、「激高して教師の足を蹴った」などの文部科学省が示す例と同等のものも含むといった変更があった。

※いじめ認知については、平成26年度に、文部科学省が示したいじめの認知事例等を踏まえて、対人関係のトラブル等の中でいじめとして認知するかどうか確認するなどの一部見直しがあった。

不登校児童生徒数の推移



令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

暴力行為発生件数は、小・中・高校ともに減少しており、合計件数としては、現行の調査方法となった平成18年度以降過去最少です。

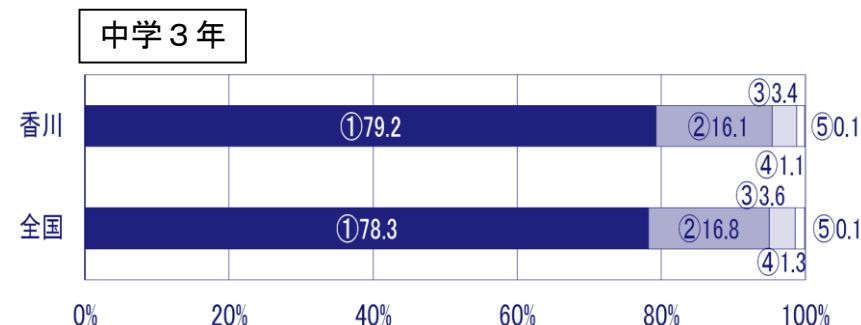
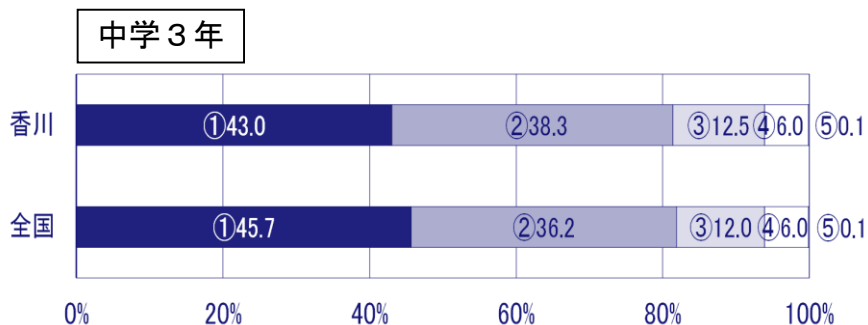
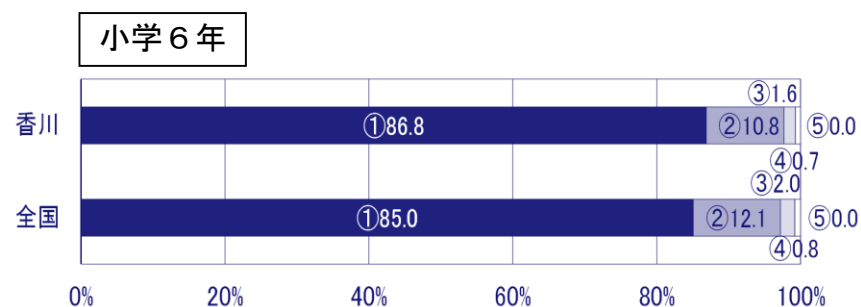
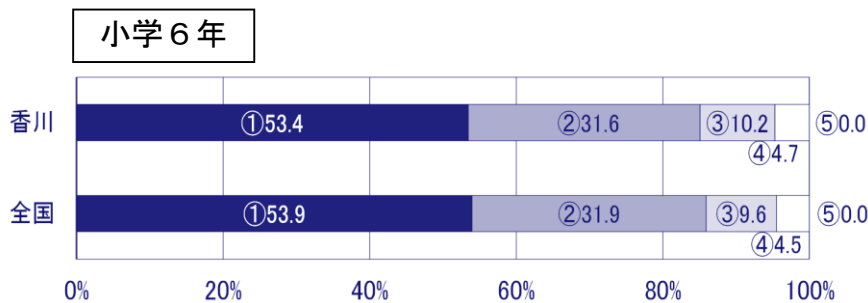
いじめ認知件数は、小では増加、中・高・特別支援学校では減少しています。

不登校児童生徒数は、小は増加。中・高で減少しています。小・中・高の合計では6年ぶり減少に転じました。

学校生活の状況

問) 学校に行くのは楽しいと思えますか

問) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思えますか



- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

令和元年度 全国学力・学習状況調査

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の調査はなし。

【昨年度の状況】

「学校に行くのは楽しいと思えますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに80%より高くなっています。

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思えますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに90%より高く、全国を上回っています。

児童生徒の体格

小学5年男子

体格(全国、順位)

身長 138.7cm (139.0cm、29位)
体重 34.6 kg (34.4kg、22位)
肥満傾向児 12.79% (10.63%、33位)
痩身傾向児 1.58 % (2.61%、7位)

中学2年男子

体格(全国、順位)

身長 159.4 cm (160.0cm、34位)
体重 49.5 kg (49.2kg、15位)
肥満傾向児 9.69 % (9.63%、22位)
痩身傾向児 0.72 % (2.31%、1位)

高校2年男子

体格(全国、順位)

身長 168.8 cm (169.9cm、45位)
体重 59.7 kg (60.7kg、43位)
肥満傾向児 9.08 % (10.50%、12位)
痩身傾向児 1.89 % (2.60%、12位)

小学5年女子

体格(全国、順位)

身長 138.7cm (140.2cm、46位)
体重 33.5 kg (34.2kg、43位)
肥満傾向児 7.78 % (8.46%、20位)
痩身傾向児 2.10 % (2.71%、21位)

中学2年女子

体格(全国、順位)

身長 154.2 cm (154.8cm、40位)
体重 47.7 kg (47.3kg、19位)
肥満傾向児 9.11 % (7.88%、30位)
痩身傾向児 2.33 % (3.56%、8位)

高校2年女子

体格(全国、順位)

身長 156.9 cm (157.7cm、42位)
体重 52.7 kg (52.7kg、35位)
肥満傾向児 8.30 % (7.30%、31位)
痩身傾向児 1.82 % (1.89%、24位)

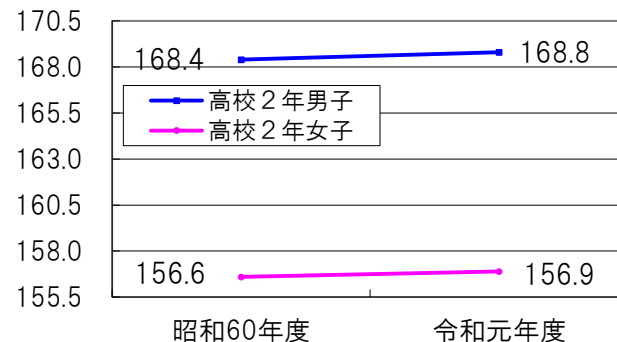
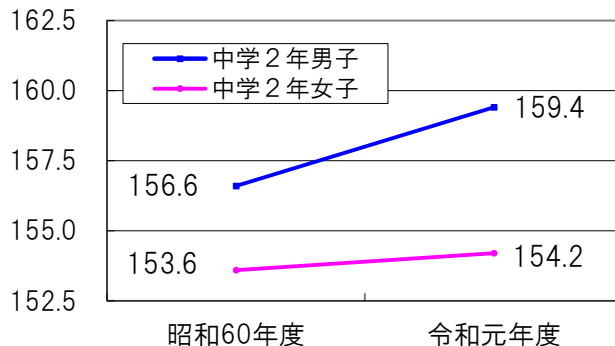
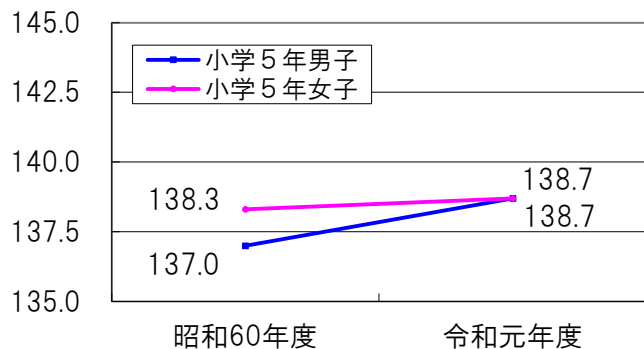
※ 肥満傾向児・痩身傾向児の順位は、出現率の低い順

令和元年度 学校保健統計調査

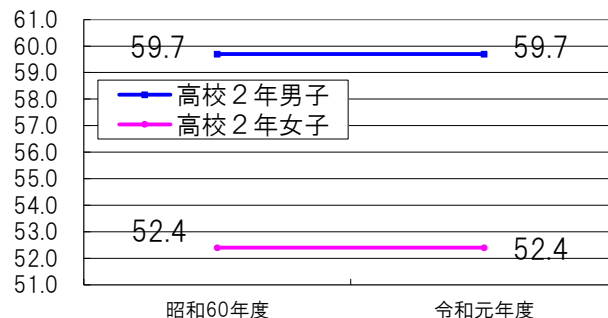
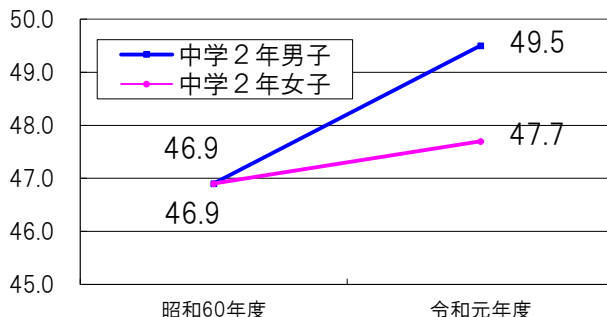
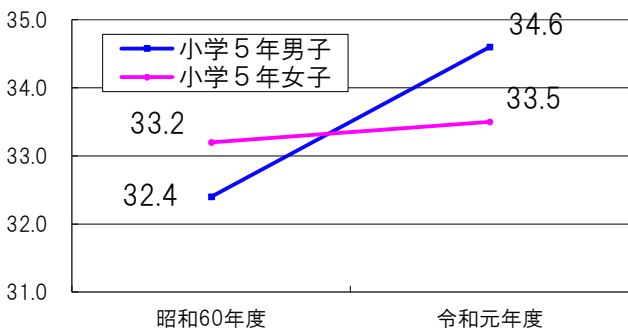
全国と比較すると、肥満傾向児が男子は小・中校生で、女子は中・高校生で平均を上回り、痩身傾向児は、男子女子ともに、全校種で平均より低い出現率となっています。

昭和60年度との体格比較(香川県)

身長(cm)



体重(kg)

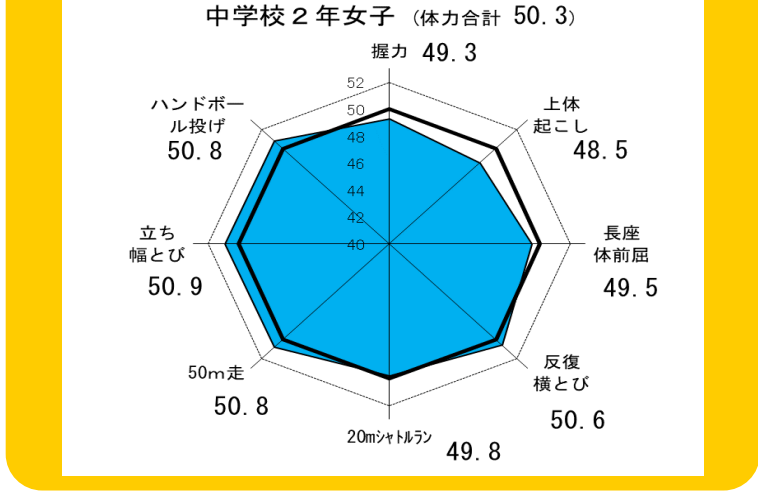
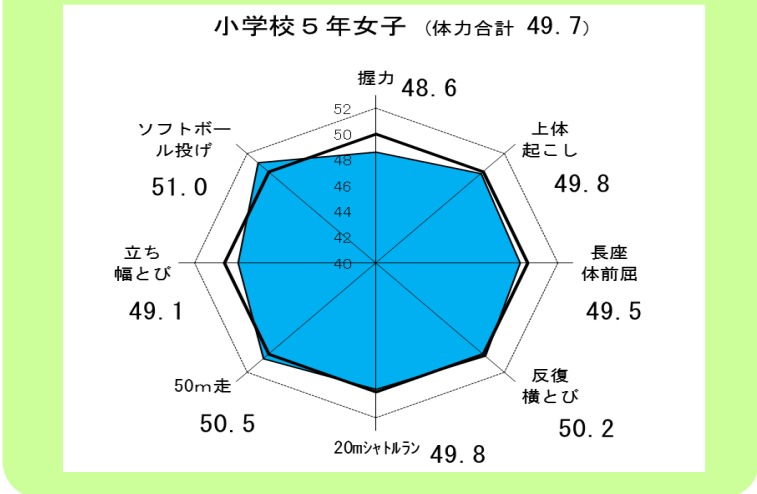
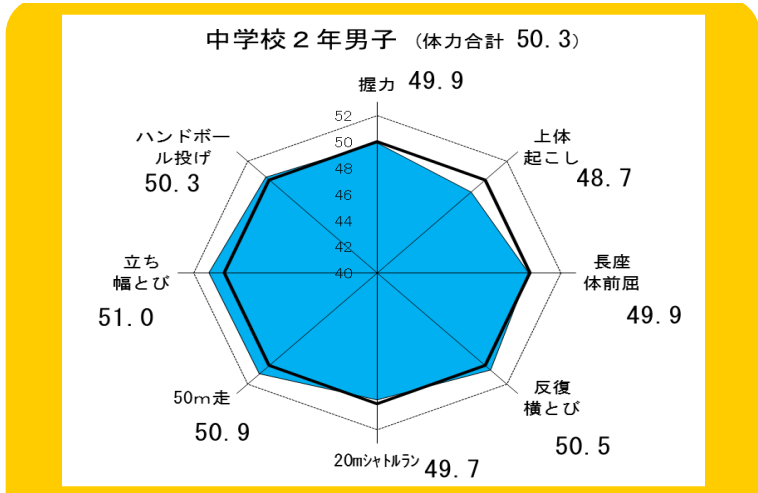
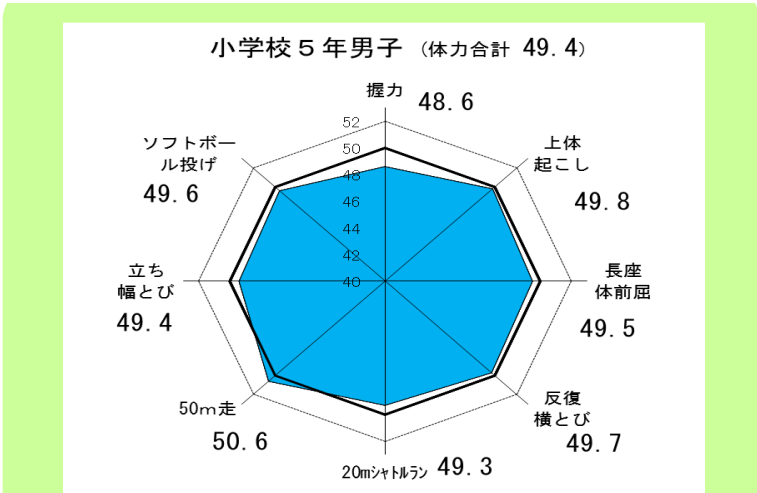


令和元年度 学校保健統計調査

昭和60年度(約34年前)と現在を比較してみると、身長・体重ともほぼ同じか、現在の小・中・高校生が上回っています。

体力・運動能力(T-スコア※)

※県平均値が全国平均値(50)と比べて、どれくらいの位置にいるかを示した指標。

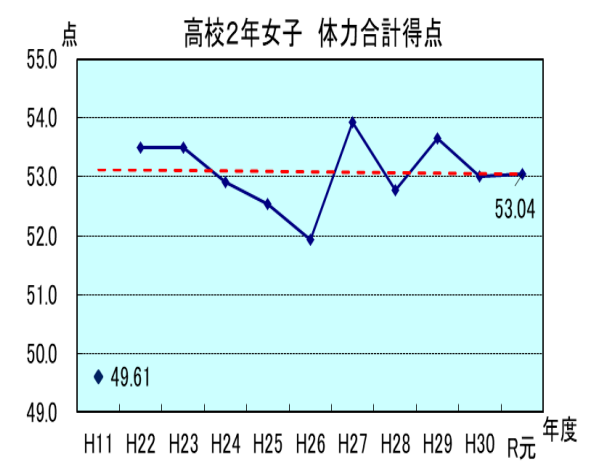
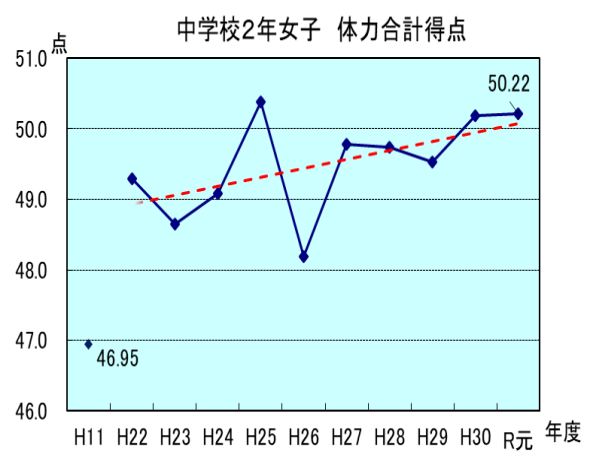
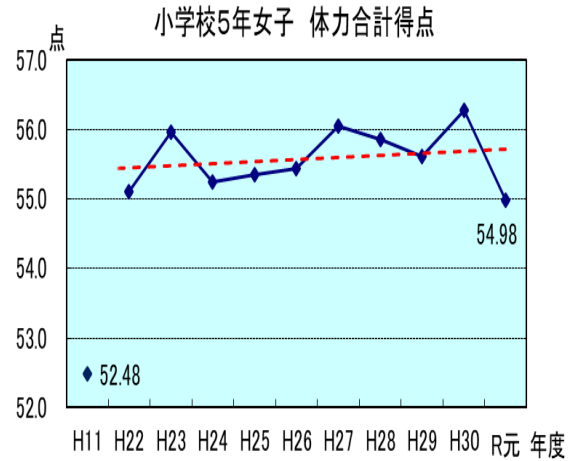
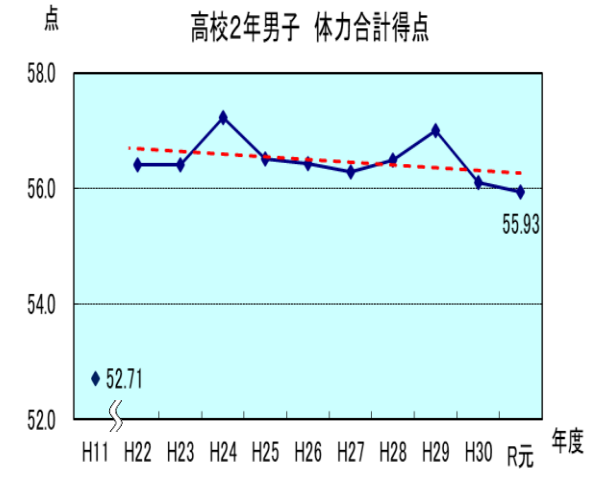
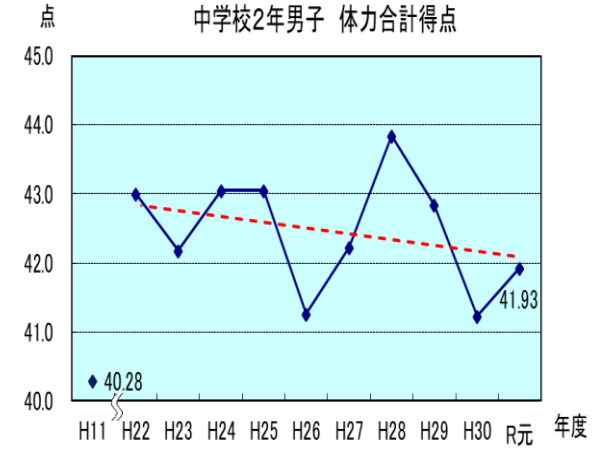
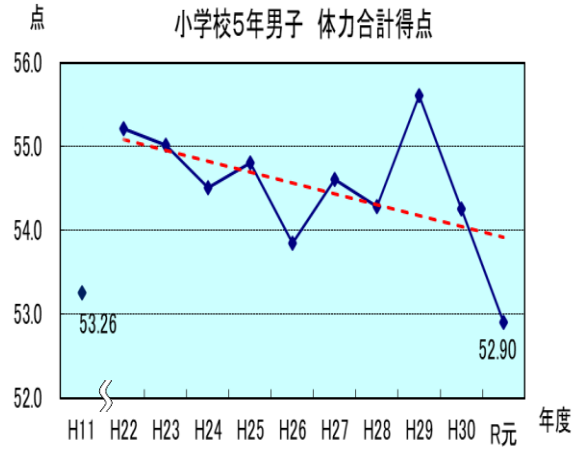


令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(全数調査)

体力・運動能力を全国と比較すると、体力合計点は中学校では男女ともに上回っていますが、小学校では男女ともに下回っています。

体力・運動能力(体力合計得点の年次推移)

● 香川県 香川県の近似直線(H22~R元)

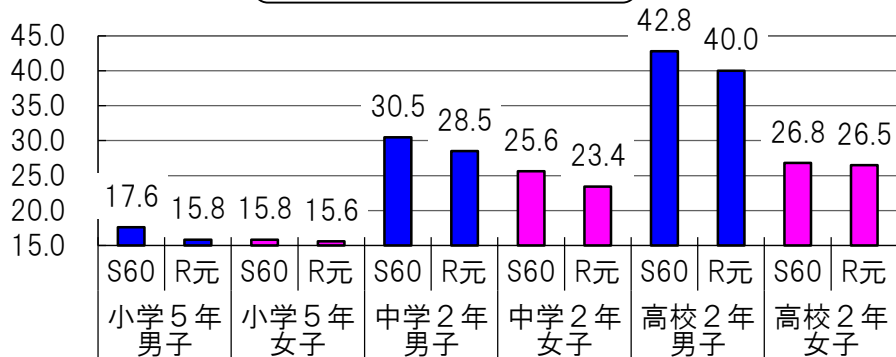


令和元年度 香川県体力・運動能力調査(全数調査)

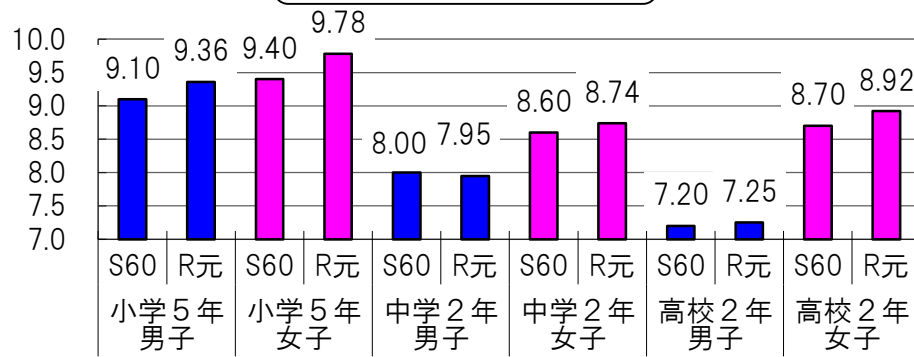
体力・運動能力における体力合計点の直近10年間の推移をみると、男子は小・中・高校生ともに低下傾向で、女子は小・中学生は向上傾向ですが、高校生は低下傾向となっています。

昭和60年度との体力比較(香川県)

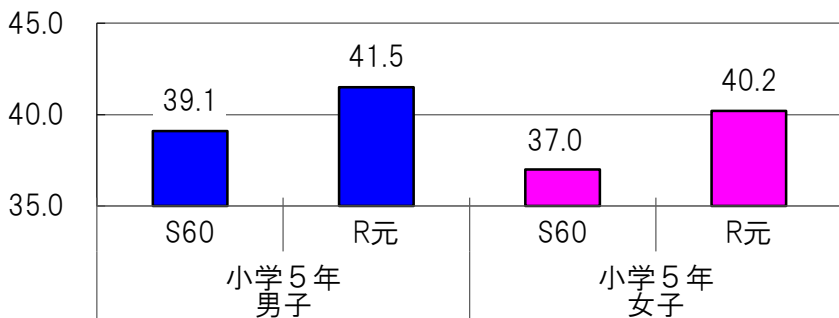
握力 (kg)



50m走 (秒)

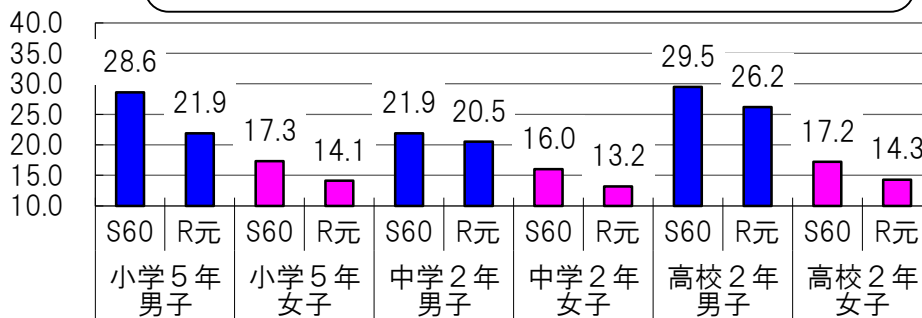


反復横とび (点)



ボール投げ(m)

小学生:ソフトボール投げ、中・高校生:ハンドボール投げ

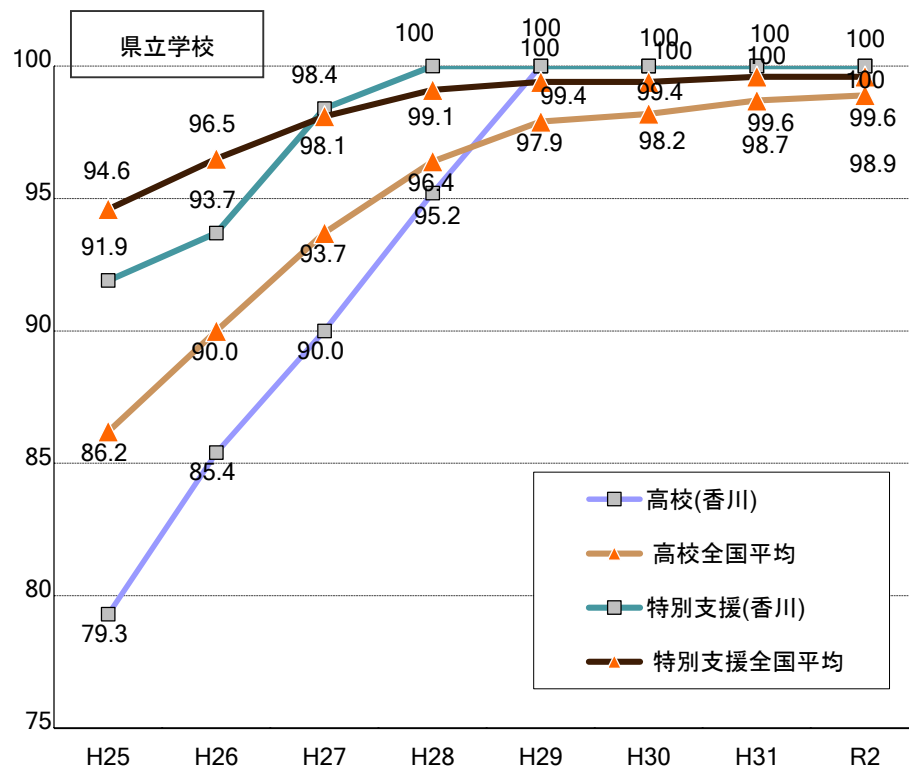
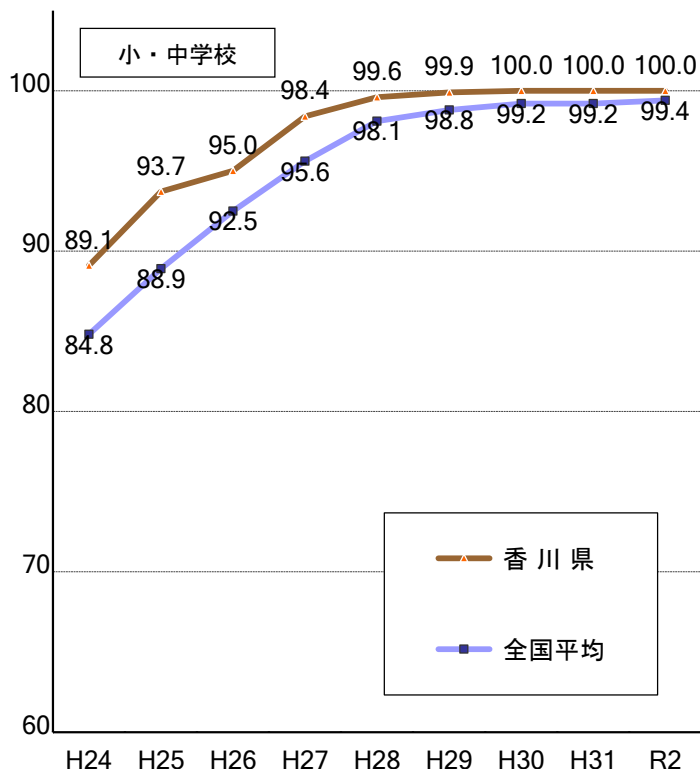


昭和60年度、令和元年度 香川具体力・運動能力調査

昭和60年度調査(約34年前)と現在を比較してみると、小学生男女の反復横とび、中学生男子の50m走は現在が上回り、それ以外の項目は、現在が下回っています。

公立学校施設の耐震改修状況

(%)



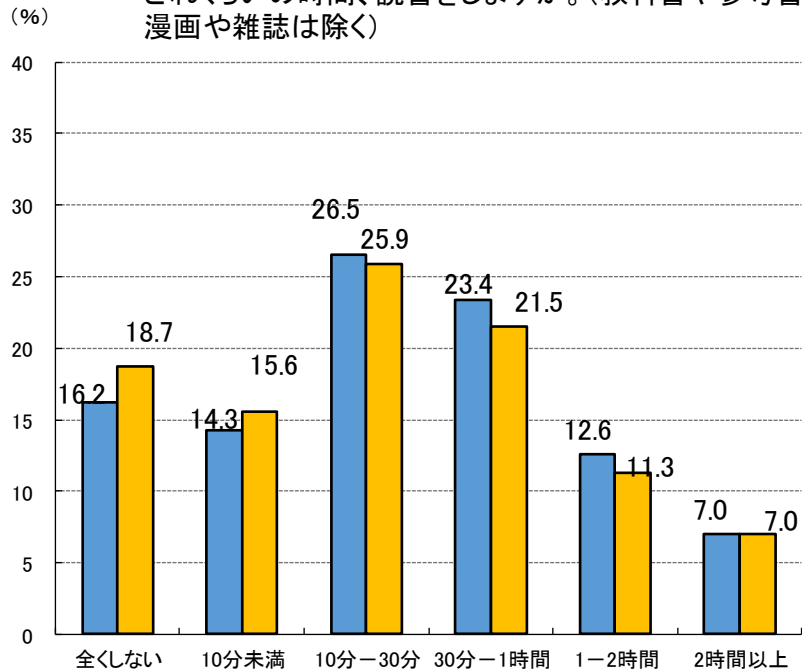
令和2年度 耐震改修状況調査

平成30年4月1日時点で、公立学校施設（構造体）の耐震化率は、小・中学校、高校、特別支援学校いずれも100%となっています。

1日当たりの読書時間

小学6年

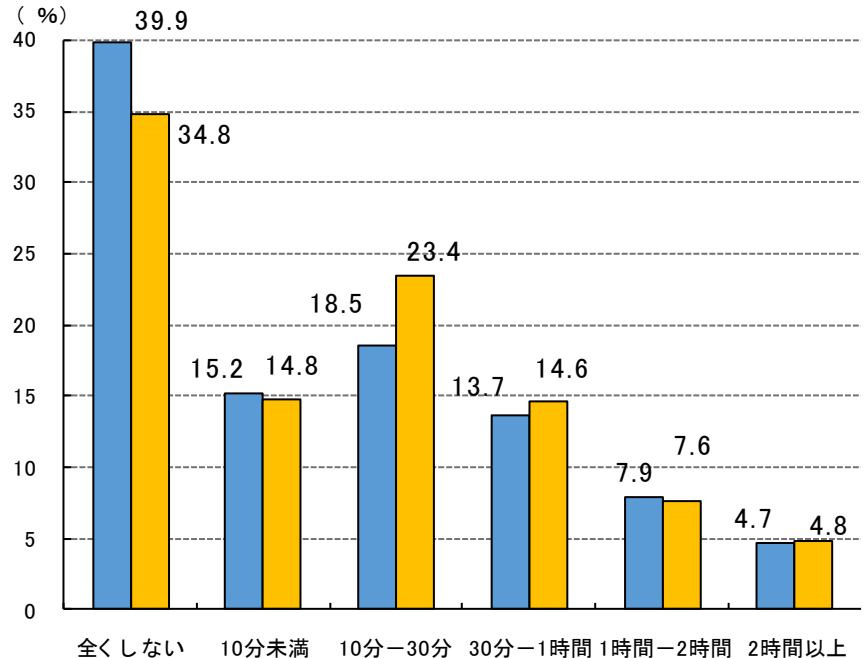
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



■香川県 ■全国

中学3年

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



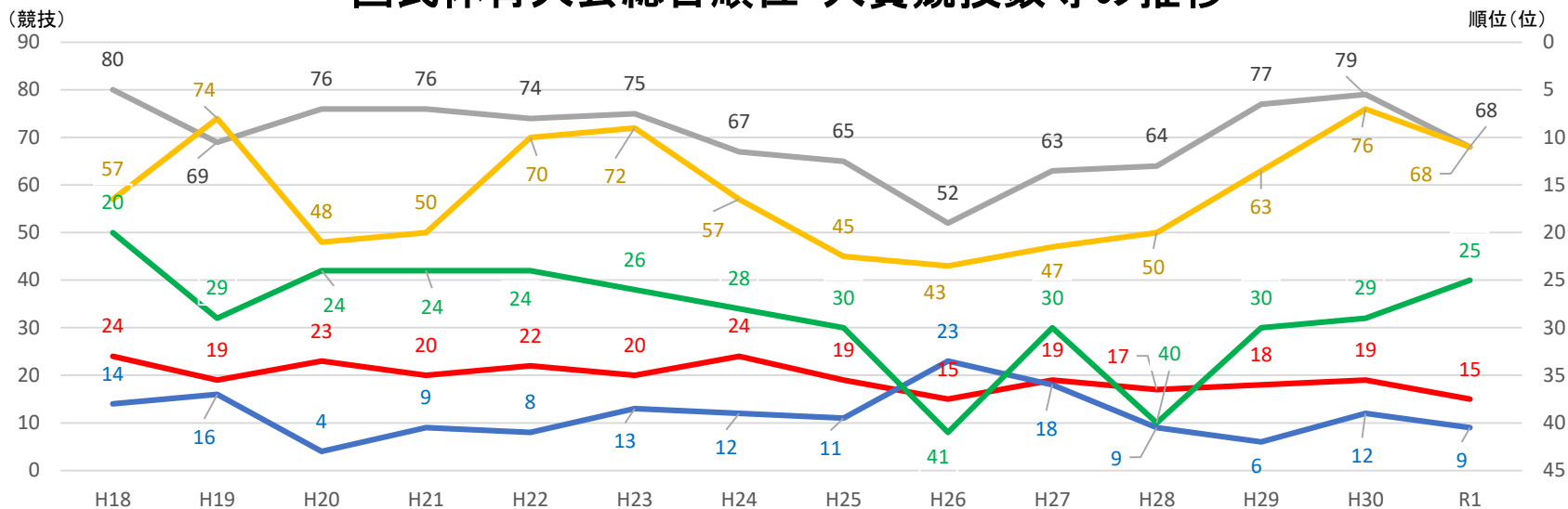
令和元年度 全国学力・学習状況調査

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の調査はなし。

【昨年度の状況】

学校の授業時間以外の、普段(月～金曜日)の1日当たりの読書時間を全国と比較すると、全くしないと回答した児童生徒の割合は、小学校において全国を下回っていますが、中学校において、全国を上回っています。

国民体育大会総合順位・入賞競技数等の推移



— 国体入賞競技数 (正式競技)
 — 国体入賞数 (得点にかかわらない種目および公開競技含む)
 — 全国高校総体等入賞数
 — 全国中学校体育大会入賞数
 — 国体総合順位

オリンピック大会・アジア競技大会での出場者数(香川県出身)

(人)

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
オリンピック大会	—	—	北京 0	—	—	—	ロンドン 0	—	—	—	リオ 1	—	—	—
アジア競技大会	ドーハ 6	—	—	—	広州 6	—	—	—	仁川 9	—	—	—	ジャカルタ 8	—

※新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は開催していない。

【昨年度の状況】

国民体育大会及び全国高等学校総合体育大会等の入賞数は、昨年度よりわずかに減少しました。国民体育大会の総合順位は、今年度は、昨年度の29位から25位に順位を上げ、2年連続20位台を達成しました。

香川県教育施策の概要

令和2年度

香川県教育委員会

目 次

香川県教育基本計画について	1
1 確かな学力の育成と個に応じた教育の推進	2
2 豊かな人間性をはぐくむ教育の推進	7
3 すこやかな体をはぐくむ教育の推進	10
4 元気で安心できる学校づくり	11
5 社会全体で子どもを育て、いつでも学べる環境づくり	14
6 多様なスポーツ活動が実践できる環境づくり	17
7 文化財の保存と活用	19
新型コロナウイルス感染症対策関連の事業	20

※本資料において〔 〕内は、令和2年度予算額を示す。

香川県教育基本計画について

(平成28年度～令和2年度)

**基本理念: 夢に向かってチャレンジする人づくり
～子どもたちの夢と笑顔を大切にする香川の教育～**

5つの重点項目

学力の育成 心の育成 教員の指導力向上 家庭の教育力向上
スポーツ競技力の向上

基本的方向

- 1 確かな学力の育成と個に応じた教育の推進
- 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の推進
- 3 すこやかな体をはぐくむ教育の推進
- 4 元気で安心できる学校づくり
- 5 社会全体で子どもを育て、いつでも学べる環境づくり
- 6 多様なスポーツ活動が実践できる環境づくり

1 確かな学力の育成と個に応じた教育の推進

基礎的・基本的な知識や技能の習得、学習意欲の向上、学習習慣の確立を図り、確かな学力を身に付けさせるとともに、個に応じたきめ細かな指導などを通じて、一人ひとりの能力や個性を伸ばす教育を推進します。

1 確かな学力の育成

◆香川型指導体制の推進(平成23年度～)

- 小学校の基本4教科、中学校の基本5教科における少人数指導(20数名程度)の実施
- 小学校1～4年、中学校1年生で35人以下学級を実施
- 学力向上基盤形成のための指導体制の充実

- 新** ○新しい時代の学びに対応した環境づくりに向けて、有識者及び学校関係者で構成する「小・中学校における新しい指導体制の在り方検討委員会」を設置し、専科指導の拡充や少人数学級について検討を実施

◆「さぬきっ子学力向上」事業(平成23年度～) [20,577千円]

- 小学校3年生から中学校2年生までを対象に、県学習状況調査を悉皆で実施(コロナ禍により学習に関する調査は中止)
- 学力向上を目的とした学校教育活動支援事業の実施

◆県立高校魅力化推進事業(令和元年度～) [5,410千円]

- 県立高校において、国内外の大学、高校や地元自治体、企業等と連携・協働しながら、地域課題の解決や新たな魅力を考える探求的な学びを実現する取組みを推進

◆新しい学びのための環境整備事業(令和元年度～) [50,342千円]

- 主体的・対話的で深い学びを推進するため、普通教室にタブレットパソコン・電子黒板・無線LANなどのICT機器を整備



教育の情報化推進モデル校事業

2 キャリア教育の推進

◆キャリア教育充実事業(平成23年度～)〔10,130千円〕

- キャリア教育の充実
 - ・インターンシップの実施
 - ・プロを講師とした授業の実施
 - ・専門高校ヴィクトリープロジェクトの実施
- 就職指導の充実
 - ・就職スキルアップセミナーの開催
 - ・ジョブ・サポート・ティーチャーの配置
 - ・新規求人開拓のための企業訪問への支援
 - ・未内定者に対する就職面談会の開催
- 新規学卒者のための職場定着サポート
 - ・新規学卒者のための職場定着サポート
 - ・職場定着促進セミナーの開催
- 教員の技術指導力の向上
 - ・新技術に対応するため、産業教育担当教員に対する実技講習会の開催
- 情報・魅力発信
 - ・かがわ産業教育フェアの開催



かがわ産業教育フェア
生徒研究成果発表(飾り切り)

3 外国語教育、国際理解教育の推進

◆外国語教育充実事業(平成30年度～) [110,805千円]

○英語教育充実のための小中学校連携事業

中学校英語科教員が校区内の小学校5、6年生の英語の授業をサポートする体制を整備

○中学生の英語力向上事業

中学2年生を対象に「話す」技能に関する英語の資格・検定試験を実施し、英語力の向上と授業改善を推進

○県立高校英語教育充実事業

民間事業者等が実施する英語の資格・検定試験を活用し、県立高校生の英語4技能を育成

○ALT活用事業

外国人指導助手(ALT)を県立高校に派遣し、生徒が生きた英語にふれる機会を確保するとともに、英語教員の教科指導力の向上を推進

◆グローバル人材育成事業(平成29年度～) [7,874千円]

○高校生の海外交流推進事業(オンライン)

○グローバルリーダー育成事業

新◆外国人児童生徒等教育充実事業(令和2年度～) [4,106千円]

日本語初期指導教室の設置や特別非常勤講師の配置など、外国人児童生徒が学校生活を円滑にスタートして日本での生活に順応していくための支援についての研究成果等の普及を行うとともに、外国人児童生徒の日本語習得状況や生活への適応状況等に応じたきめ細やかな支援体制を整備する市町を支援

4 情報教育の推進

◆子どものネット依存対策・ネット利用適正化推進事業(平成21年度～) [6,268千円]

学校におけるインターネット利用に関する指導の充実、トラブルやネット・ゲーム依存の未然防止・早期発見・早期対応、保護者への啓発活動のための指導者養成を図るなど、子どもたちのインターネットの適正な利用に向けた取組みを実施

○インターネット依存対策に関する研修(コロナ禍により研修は中止)

○さぬきっ子安全安心ネット指導員の養成

○スマートフォン等の利用状況に関する調査

新 ○ネット・ゲーム依存予防対策マニュアルの作成

新 ○ネット・ゲーム依存予防対策学習シートの作成

新 ○幼児の保護者等を対象としたネット・ゲーム依存予防対策

5 幼児期の教育の推進

◆幼児教育充実推進事業(平成13年度～) [9,694千円]

「香川県就学前教育振興指針」に沿って就学前教育の充実を図るため、幼稚園新規採用教員等の研修を実施

◆就学前教育サポート事業(令和元年度～) [3,517千円]

幼稚園教諭、保育士、保育教諭に対する研修の一元化を進めるとともに、幼児教育施設に幼児教育スーパーバイザーを派遣し指導・助言等を実施



主体的に遊ぶ子ども

6 特別支援教育の推進

◆特別支援学校教諭免許法認定講習〔774千円〕

現職教員を対象に、特別支援学校教諭免許状の取得等を目的として免許法認定講習を開設

◆特別支援教育総合推進事業(平成24年度～)〔3,086千円〕

特別支援教育を総合的に推進するため、乳幼児期からの支援体制の構築、学校等の教育体制整備、教員の計画的研修の実施、関係機関との連携推進等

◆スクールカウンセラー派遣事業(平成24年度～)〔2,445千円〕

専門的な知識や経験を有するスクールカウンセラーを各特別支援学校に派遣

◆特別支援学校生徒の就労支援事業(平成27年度～)〔26,669千円〕

就職をめざす特別支援学校の卒業生を県教育委員会で雇用し、業務経験の積み重ねによるスキルアップの機会を提供することにより、一般企業等への就職を支援

新 ◆主体的な学びを支援するICT活用事業(令和2年度～)〔2,300千円〕

個々のニーズや障害特性に応じた学習支援を保障するために、ICT環境を整備するとともに、特別支援学校のセンター的機能の役割を一層強化し、子どもたちの主体的な学びを支援

◆医療的ケア体制整備事業〔44,755千円〕

- たんの吸引などの医療的ケアの必要な幼児児童生徒が在籍する特別支援学校に看護師を配置
- 医療的ケア運営協議会を設置し、特別支援学校への指導や看護師の研修等を実施

◆発達障害支援事業〔6,084千円〕

新 ○特別支援教育スキルアップ事業

発達障害のある児童生徒への対応において、経験の浅い通常学級担任等への指導助言や専門性向上のための研修体制の構築等を行い、個の教育的ニーズに応じた支援の充実を推進

○巡回専門指導員派遣事業

小・中学校に巡回専門指導員を派遣し、各学校における特別支援教育体制の充実を支援

2 豊かな人間性をはぐくむ教育の推進

基本的な生活習慣の確立を図り、規範意識や生命の尊重、自尊意識、他者への思いやりなどの道徳性、豊かな感性や情操、人権感覚などを養うとともに、問題行動対策など生徒指導の充実を図ります。

1 道徳教育、ふるさと教育の充実

◆豊かな心を育てる事業(平成22年度～) [886千円]

- ・ 生きることの意味や命の大切さを児童生徒が実感できる道徳教育を充実させるため、「生」や「死」に直面している助産師や救急救命士、介護福祉士、獣医師等を、「いのちのせんせい」として活用した授業を小・中学校で実施



「いのちのせんせい」派遣事業

◆道徳教育パワーアップ事業(平成26年度～) [7,290千円]

- ・ 地域の実情に応じて主体的に行う特色のある道徳教育の実践研究を行うモデル校を指定し、取組成果を発信
- ・ 道徳科における授業力の向上を図るための研修を実施

2 暴力行為、いじめ、不登校対策等生徒指導の充実

◆生徒指導総合支援事業(平成23年度～)〔41,410千円〕

問題行動等の課題を抱える学校を支援するためスクールサポートチームを派遣するとともに、児童生徒の規範意識の醸成を図るなど生徒指導を充実

- スクールサポートチームを学校に派遣
- 交流等による問題行動等未然防止事業
- 13歳の自律教室開催事業

◆いじめ・不登校等対策事業(平成19年度～)〔140,166千円〕

いじめ・不登校等の未然防止や早期発見、早期対応のため、教育相談体制を充実

- スクールカウンセラー配置事業
- 新** ○不登校対策スーパーバイザー活用事業
若年スクールカウンセラー等に対するスーパーバイズを臨床心理士会に委託
- 教育センターにおける24時間いじめ電話相談の実施
- 相談担当者の資質向上に向けた研修の実施
- いじめ問題対策連絡協議会の開催

◆スクールソーシャルワーカー配置促進事業(平成25年度～)〔32,586千円〕

- スクールソーシャルワーカーを配置する市町への補助を実施

◆高校中退等対策事業(平成11年度～)〔44,428千円〕

- スクールカウンセラー活用事業
- スクールソーシャルワーカー活用事業
- 高校生活適応指導事業
- 定時制・通信制体験活動等を通じた対話力育成事業



交流等による問題行動等未然防止事業



いじめ問題ワークショップ
-「コロナいじめ」防止教材づくり-

3 体験活動等の推進

◆「生き生き香川の子」推進事業〔26,729千円〕

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団宿泊学習に代えて、五色台少年自然センターや屋島少年自然の家での日帰り体験学習等を実施
- ・小学校高学年でも、上記施設を利用し、自然体験を中心とした活動を実施



五色台少年自然センターでの日帰り体験学習

4 豊かな感性や情操をはぐくむ教育の推進

◆芸術文化活動推進事業〔872千円〕

- さぬきの文化をつくるチカラ・高校文化部振興事業
- 小・中学校文化芸術活動の推進

◆かがわ未来のアーティスト育成事業〔4,770千円〕



かがわ未来のアーティスト育成事業
(高校生のための瀬戸内アートサマープログラム)

5 人権・同和教育の推進

◆地域学力向上・キャリア教育総合推進事業(平成14年度～)〔4,300千円〕

- ・学校、家庭、地域の連携のもと教育上の総合的な取組みを推進し、児童生徒の学力向上、キャリア教育、進路指導の充実を図る

【新】◆多様性社会に適応する豊かな心の育成事業(令和2年度～)〔1,000千円〕

- ・児童生徒や教職員が、多様性を認め合い個性と能力を十分発揮することができる社会の実現に向けた推進者となることを目指した研修や参加体験型学習、講演会を実施(令和2年度はコロナ感染拡大防止のため規模を縮小して実施)

◆人権・同和教育若年教職員パワーアップ研修事業(令和元年度～)〔500千円〕

- ・採用されて15年以内の若年教職員を対象に、学校における人権・同和教育の指導力向上を目指すために講話・研修等を実施

3 すこやかな体をはぐくむ教育の推進

健康でたくましく生きるための基礎となる体力をはぐくみ、積極的に運動に親しむ態度や能力を育成するとともに、みずからの健康管理に関心を持ち、自己の健康管理ができる能力を育成します。

1 体力づくりの推進

◆体力づくり活動推進事業(平成21年度～)〔7,645千円〕

- ・体力・運動能力調査の分析結果を踏まえて、子どもの体力向上の取組みを充実
- ・教員指導力と資質の向上を図るため、学校体育の学習指導法や実技等の研修を実施
- ・運動部活動指導者研修会の開催

2 健康教育の推進

◆がん教育総合支援事業(令和元年度～)〔267千円〕

- ・新学習指導要領に対応したがん教育の実施に向けて、教職員のがんに関する知識理解を深めるとともに、がん教育の普及・啓発を図ることを目的として、教職員対象のがん教育研修会を開催

3 食育の推進

◆幼児期から高校までの食育推進事業(平成23年度～)〔2,558千円〕

- ・学校(園)へ食に関する専門家を派遣し、幼児・児童・生徒、保護者に直接、食に関する指導を実施
- ・幼稚園から高校までの教職員を対象とした食育推進研修会を実施

◆学校における食育事業(平成18年度～)〔307千円〕

- ・給食における地場産物の活用や米飯給食の推進、栄養教諭を中心とした食に関する指導の推進

◆学校における給食支援事業(平成18年度～)〔362千円〕

- ・給食の衛生管理や危機管理の充実のための研修等の実施、食物アレルギー等の事故防止の取組み

4 元気で安心できる学校づくり

優れた資質能力を有する教員を確保するとともに、体系的、計画的な研修により、継続的に資質や能力の向上を図ります。また、教員が子どもと向き合う環境づくりを進めるとともに、質の高い教育環境を整備します。

1 優れた教員の確保と資質能力の向上

◆学校教育力向上支援事業(平成24年度～) [20,433千円]

- ・若年教員等の授業改善や学習指導、生徒指導等の支援のため、希望する小・中学校に退職教職員を派遣

新 ◆「かがわで先生！」志願者アップ事業(令和2年度～) [4,939千円]

- ・意欲と熱意を持った優秀な人材を確保するため、積極的な広報啓発を実施
- ・一定の要件を満たす他県現職教員を対象に秋募集として採用試験を実施し、U J I ターンを促進

2 教員が子どもと向き合う環境づくり

◆スクールサポートスタッフ配置事業(平成30年度～) [46,200千円]

- ・教員の事務負担軽減のため、教員の業務支援を行うスクールサポートスタッフを配置する市町等を支援

◆部活動指導員配置促進事業(平成30年度～) [6,498千円]

- ・教員の長時間労働の解消と部活動の適正化のため、部活動指導員を配置する市町に対して経費の一部を補助

◆部活動指導員活用事業(平成30年度～) [4,202千円]

- ・部活動指導員を県立学校に配置し、教員の負担を軽減し、子どもと向き合う時間を確保

◆教職員のメンタルヘルス対策事業〔16,365千円〕

- ・常勤の臨床心理士による相談体制の充実、管理監督者や職階別の研修を実施
- ・県立学校の教職員を対象にストレスチェックと高ストレス者への医師の面接指導や臨床心理士によるフォロー相談の実施

3 信頼され、魅力ある学校づくりの推進

◆魅力ある県立高校づくり事業(平成28年度～)〔1,556千円〕

- ・「魅力あふれる県立高校推進ビジョン」で示した方針のうち、特に対応が急がれる課題である石田、志度、津田の3校を統合して新設する高校の在り方や、中讃地域における新たな中高一貫教育校の設置に関する検討の実施
- ・全国からの生徒募集の準備や、国際バカロレア教育の研究等の実施

4 学校安全の充実

◆学校安全総合支援事業(平成30年度～)〔2,556千円〕

- ・学校に防災の専門家を派遣し、防災体制整備及び防災教育を充実
- ・大学等と連携し、将来防災のリーダーとなる高校生を対象に講習会を開催
- ・登下校時における見守り体制の充実に向けた講習会や交通安全講習会等を開催

◆高校生交通安全推進事業(平成31年度～)〔178千円〕

- ・「高校生自転車運転免許制度」の推進
- ・DVD視聴を通して、交通ルールの順守や交通マナーの向上に向けた交通安全教育の徹底

5 安心安全な教育環境の整備、充実

◆高等学校施設・設備整備事業〔1,318,948千円〕

- 高等学校非構造部材改修事業
- 老朽校舎等改築事業
- 環境整備事業
- 高等学校施設整備事業
- 建物等大規模改修事業
- 教育設備等整備事業
- 産業教育施設・設備整備事業
- 県立学校ブロック塀等安全対策事業
- 新しい学びのための環境整備事業

新 ○学校施設長寿命化計画策定事業

◆特別支援学校施設整備事業〔251,810千円〕

- 小豆地域特別支援学校整備事業
- 特別支援学校施設整備事業

新 ○特別支援学校ブロック塀等安全対策事業

◆主体的な学びを支援するICT活用事業【再掲】〔2,300千円〕

6 就学支援の充実

◆高等学校等奨学事業(平成14年度～)〔352,578千円〕

- ・経済的な理由で修学が困難な高校生等に対して奨学金を貸し付け、有為な人材を育成

◆高等学校等就学支援金交付事業(平成26年度～)〔1,890,104千円〕

- ・公立高校生に対して、授業料相当額の高等学校等就学支援金を支給し、保護者の負担を軽減

◆奨学のための給付金事業(平成26年度～)〔203,299千円〕

- ・低所得世帯の国公立高校生等の保護者等に対して奨学のための給付金を支給

◆特別支援教育就学奨励費支給事業〔158,469千円〕

- ・特別支援学校に就学する障害のある幼児児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費を支給

5 社会全体で子どもを育て、いつでも学べる環境づくり

家庭や地域の教育力の向上に向けた取組みを推進するとともに、家庭、地域、学校が連携して子どもを育てる環境づくりを進めます。さらに、県民一人ひとりが、みずからの意思で、いつでも自由に学習することができるよう、学習機会の拡充を図るとともに積極的な情報提供や環境整備を進めます。

1 親育ちを応援する環境づくり

◆家庭教育力再生事業（平成23年度～）〔5,135千円〕

- ・ 望ましい生活習慣づくりの促進を目的とした家庭、企業等への啓発
- ・ 保護者同士の学習交流機会の充実等
- ・ 家庭教育を支援する人材の養成等

◆「みがけ親の力！」応援事業（平成29年度～）〔2,649千円〕

子どもの社会性や、自尊意識、自己有用感の向上に努める

- ・ 子どもの「やり抜く力」など「非認知スキル」の向上に資する取組みの啓発
- ・ チャレンジシートを活用した生活習慣の改善や生活面での自立を児童に促す取組みの実施

【新】◆幼児の保護者を対象としたネット・ゲーム依存予防対策（令和2年度～）〔2,226千円〕【再掲】

- ・ 幼児の保護者等を対象に、ネット・ゲーム依存に関わる基本的な知識についての理解を図り、家庭でのスマートフォン等の利用について考える機会を提供



望ましい生活習慣を促すポスター

2 地域で子どもを育てる環境づくり

◆地域教育力再生事業（平成23年度～）〔1,481千円〕

- ・地域住民や地域団体、大学等による子どもや家庭を支援する事業の実施
- ・父親等の地域活動への参加促進と活動の充実支援

◆学校・家庭・地域連携協働事業〔29,119千円〕

○放課後子供教室推進事業（平成19年度～）

- ・放課後等に地域住民の参画を得て、子どもたちの学習や体験・交流活動等の取組みを推進

○地域土曜スクール推進事業（平成26年度～）

- ・土曜日の子どもたちの活動の充実のため、地域の人材を活用した学習や体験活動の機会を提供

○地域学校協働活動推進事業（平成20年度～）

- ・地域と学校が連携・協働するための組織的、継続的な仕組みの整備を推進

新 ○地域学校協働活動に関わる人材育成事業（令和2年度～）

- ・学校を核とした地域づくりの実現のため、社会教育士を養成するとともに、研修会や啓発リーフレットの作成等を通して、地域学校協働活動に関わる人材をネットワーク化



地域住民の参画による「地域で共育！」

3 子どもが読書に親しめる環境づくり

◆子どもの読書活動啓発事業（平成15年度～）〔226千円〕

- 「親子読み聞かせ教室」の開催
- 香川県子ども読書活動推進会議の開催
- 「23が60読書レビュー」「書評合戦（ビブリオバトル）」等、読書への関心を高める事業を実施



親子読み聞かせ教室

4 学びにチャレンジできる環境づくり

◆生涯学習推進事業〔3,682千円〕

- 地域支援指導者セミナー
- 生涯学習政策アドバイザーによる助言
- 「かがわ学びプラザ するするドットネット」を運用

◆県立図書館利用推進事業（平成6年度～）33,998千円〕

- 県民の教養、調査研究、レクリエーション等に必要とされている資料を幅広く収集するとともに、県内の中核図書館として、市町立図書館等を支援するために必要な資料を整備

◇ゼロ予算事業◇

- おやこde図書館探検
- 図書館資料寄贈募集



するするドットネット トップページ

6 多様なスポーツ活動が実践できる環境づくり

身近な場所でライフステージに応じた多様なスポーツ活動を実践できる生涯スポーツの環境の整備を図るとともに、トップアスリートをめざし競技力を高めることができる環境づくりを進めます。

1 生涯にわたりスポーツを楽しむことができる環境づくり

◆生涯スポーツ指導事業(平成18年度～) [1,958千円]

- ・地域住民が生涯を通じてスポーツに参加するための基盤となる総合型地域スポーツクラブの育成の支援、生涯スポーツ指導者やアシスタントマネジャーの養成(講座中止)

◆県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業(昭和63年度～) [1,813千円]

- ・県民が気軽にスポーツやレクリエーション活動に親しむことのできる生涯スポーツの祭典の開催(スポーツ大会のみ実施)

◆香川丸亀国際ハーフマラソン大会開催事業(平成20年度～) [4,750千円]

- ・本県のより一層のスポーツ振興と交流人口の拡大を図るため、国際大会で活躍した世界的な海外選手や国内の有名選手を招待(大会延期)

◆香川・台湾スポーツ交流事業(平成28年度～) [3,550千円]

- ・台湾の桃園市とのスポーツを通じた交流

◆新県立体育館整備事業 [155,261千円]

- ・新県立体育館の整備に向けた設計業務等の実施



第30回県民スポーツ・レクリエーション祭



第74回香川丸亀国際ハーフマラソン大会

2 トップアスリートをめざし、競技力を高めることができる環境づくり

◆国民体育大会等派遣事業 [10,958千円]

○国体や四国ブロック大会への選手の派遣（国体冬季大会以外中止）

◆羽ばたけトップアスリート育成事業（平成21年度～）

[126,013千円]

○ジュニア育成事業

ジュニア選手の発掘・育成や、中学校、高校の運動部活動の強化

- ・スーパー讃岐っ子育成事業
- ・ジュニアアスリート強化プロジェクト
- ・運動部活動支援事業
- ・プロスポーツ選手等活用事業 等

○トップアスリート育成支援事業

国体候補選手の強化や指導者育成、優秀コーチの招へい

- ・国体強化特別事業
- ・優秀コーチ招へい事業
- ・専任コーチ等活用事業
- ・かがわジュニア育成プラン 等

○スポーツ日本代表特別強化事業

- ・スポーツ日本代表特別強化事業
- ・スーパーアスリート育成事業
- ・東京オリンピック候補選手強化事業
- ・かがわドリームスポーツ教室 等

○トップアスリート等顕彰事業

◆高校野球強化事業(平成22年度～) [4,026千円]

◆四国インターハイ開催準備等事業 [3,194千円]

○令和2年度インターハイカヌー競技開催事業（開催中止）

新 ○令和4年度四国インターハイ開催準備事業



スーパー讃岐っ子育成事業
(カヌー競技体験)



かがわドリームスポーツ教室
(中畑清さんによる野球教室)

7 文化財の保存と活用

本県には、豊かな自然と長い歴史の中で培われた文化遺産が数多くあり、県民共有の貴重な財産として継承されています。これらは歴史や文化を理解するために欠くことのできないものであり、香川の文化を向上・発展させ、県内各地の活性化を図るための基礎となるものであることから、積極的に保存し、活用していくことが重要です。

このため、重要な史跡などの文化遺産や地域の歴史や文化の証である文化財を積極的に保存・整備・活用するとともに、地域に根ざした特色ある伝統文化の積極的な保存・継承に努めます。

1 文化財の保存と活用の推進

◆文化財保存事業(昭和63年度～) [1,031千円]

- ・国・県指定文化財の保存修理に要する経費を補助
- ・県指定民俗文化財の保存・継承に要する経費を補助

◆指定文化財緊急保存修理・活用事業(平成25年度～)

[30,825千円]

- ・国・県指定文化財の緊急かつ大規模な修理等に要する経費を補助

◆香川の文化財活用事業(平成30年度～) [12,980千円]

- ・県内に所在する国指定文化財等の価値や魅力をウェブサイトで紹介するとともに、国県指定文化財の写真や解説文を掲載した冊子を作成し、積極的な活用を推進

◆讃岐国府跡調査事業(平成21年度～) [8,751千円]

- ・遺構の広がりを確認するための発掘調査を行い、成果を県内外へ発信し、文化財を活用した地域の活性化を促進

◆文化財保存活用大綱策定事業(令和元年度～) [872千円]

- ・県内の文化財の総合的な保存・活用の方針や市町への支援、防災・災害発生時の対応などを盛り込んだ大綱を策定



国指定史跡「丸亀城跡」(修理)

新型コロナウイルス感染症対策関連の事業

新型コロナウイルス感染症対策として、感染予防対策、学習の遅れへの対応、ICT環境の整備等の学習の保障や児童生徒への心のケアにも努めています。

感染症予防対策の徹底

◆公立幼稚園新型コロナウイルス対策補助事業(46,488千円) 14市町84園

市町が新型コロナウイルス感染症対策を実施するため、公立幼稚園に配備する保健衛生用品(子ども用マスク、消毒液、空気清浄機等)を購入する経費を補助

◆特別支援学校スクールバス感染症対策事業(69,619千円)

感染リスク低減のためにスクールバスを増便

◆学校保健指導事業(6,804千円)

県立学校における感染症対策のための保健衛生用品を整備

◆県立高校再開対策事業(73,500千円)

県立高校における感染症対策や学習保障等に必要な取組みを実施

◆教育体制緊急整備事業(20,000千円)

特別支援学校における感染症対策等に必要な取組みを実施

◆実習船「翔洋丸」遠洋航海前PCR検査事業(1,296千円)

実習船「翔洋丸」の遠洋航海前に船員、指導教官及び実習生に対してPCR検査を実施

学習の遅れへの対応

- ・臨時休業により生じた学習の遅れを回復するため、県全体で88名の教員(時間単位での配置も含む)を加配
- ・児童生徒の学習内容の定着を図るため、約170名の学習支援員(年度当初から配置されている者も含む)を配置する市町教育委員会を支援
- ・学校再開後の新型コロナ感染症対策で教員が行う業務を支援するため、約120名のスクールサポートスタッフ(年度当初から配置されている者も含む)を配置する市町教育委員会を支援

ICT環境の整備等

◆県立学校遠隔授業活用推進事業(64,153千円)

県立中学校及び高等学校において、オンライン学習に必要となるWebカメラや電子黒板、貸出用のモバイルルータ等を整備

◆新しい学びのための環境整備事業(306,842千円)

県立中学校及び高等学校において、タブレット端末を整備（県立中学校1人1台、県立高校3クラスに1クラス分）

◆学習保障緊急対策事業(57,833千円)

特別支援学校のタブレット端末、入出力支援装置、貸出用のモバイルルータ等を整備

児童生徒の心のケア

◆スクールカウンセラー配置事業(既存予算で対応)

児童生徒の心のケアが必要な場合に、市町等の要請に応えスクールカウンセラーを重点的に緊急派遣できるよう体制を整備

◆スクールソーシャルワーカー配置促進事業(既存予算で対応)

感染症の影響による緊急派遣用として要望に応じて派遣できるよう追加配置

その他

◆学校給食安定供給支援事業等(1,052千円)

県立学校の学校給食加工業者を支援

◆インターハイ等代替地方大会開催支援事業(17,000千円)

運動部活動の全国大会の代替として開催される地方大会の開催経費の一部を補助